（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	太陽の村　ウェルフェーション中央			
○保護者評価実施期間	2025/12/14	～	2026/1/25	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	29	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	2026/1/5	～	2026/1/23	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/20			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フリースクール型放デイ専門事業所 ・月間活動スケジュールの公表 ・不登校児童の体験学習（修学旅行、遠足）	・活動スケジュールの決定には児童の意見を反映するシステムを作っている。 ・通学していると体験する活動が、同様に体験できるように活動内容を構成している。	・スケジュール作成への児童参画を更に増やし確実なものとする。
2	保護者、学校など、こどもを取巻く環境との連携	・全児童所属校に対して、毎月訪問して対面での情報共有を行い顔の見える関係の構築 ・保護者と学校の間に立って、児童の学校復帰に向けたバリアの除去のための連携や、学校から保護者への連絡の中継	・こども真ん中の実現を目指した、家族、学校、支援者の連携の強化
3	こどもの意欲（通所・進路等）の維持、増大	・児童の特性を十分に理解したうえで、各児童に合わせた活動・支援の実施 ・個別学習への出席同行、家庭訪問による児童のモチベーションの維持・向上 ・高校進学（通信制高校サポート校の設置）、就労等進路に対するサポートを充実	・外部との連携で、こどもがマンネリ化しない活動内容の作成と、将来の夢や希望に繋がるような講座の企画

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経営基盤の脆弱性 ↑個別長時間が多い	不登校児童の特性から個別対応が必要な児童が多いが、個別療育としての運営ではないため、個別長時間支援となってしまう状況にある。	個別→小集団に向けた支援力の向上
2			
3	-	-	-